

ID :
氏名 :

社会医療法人 河北医療財団

甲状腺穿刺吸引細胞診説明・同意書

別紙「甲状腺穿刺吸引細胞診についての説明書」使用にて説明をいたしました。

私は上記の医療行為についてその必要性と内容、また、状況に応じた内容の変更、起こり得る危険性について説明致しました。

20 年 月 日

説明担当医師

同席者

私は上記の医療行為の説明を受け、実施に同意致します。
なお、実施中・実施後に緊急の対処が必要な場合には、変更・追加の処置を受けることも併せて同意致します。

20 年 月 日

患者署名

家族等署名 (続柄 :)

本人、家族が署名できない理由

職種 ☐ 医師 ☐ 看護師 氏名

ご不明な点がございましたら主担当医までお問い合わせ下さい。
河北総合病院 本院 : 03-3339-2121 (代表)

ID :
氏名 :

甲状腺穿刺吸引細胞診についての説明書

1. 甲状腺穿刺吸引細胞診の意義・必要性について

甲状腺超音波検査の結果、あなたの甲状腺には結節（しこり）があります。超音波検査や血液検査だけでは、その結節（しこり）がどのような性質をもっているかを鑑別できません。甲状腺結節には良性・悪性があり、それぞれ治療方針が異なります。このため甲状腺穿刺吸引細胞診を行うことによって、甲状腺組織の吸引内容を顕微鏡下で確認し、甲状腺結節が良性・機能性・悪性のどの分類になるのかを判断する必要があります。

2. 甲状腺穿刺吸引細胞診の実際

甲状腺は、首の「のどぼとけ」の付近にある蝶のような形をした組織です。甲状腺の結節（しこり）がある部分より針を刺し、内容物を吸引します。通常は血液検査の際に使うものと同径の針（22G針）を使いますが、内容物が粘稠（粘っこい）場合はやや太い針（18G針）を使う場合もあります。

針を刺すため、創部より軽度出血がみられます。このため、針を刺した後は5分間程度圧迫止血して頂きます。それで殆ど止血されますが、検査当日は創部からの感染を防ぐため、念のため創部を濡らさないようにして下さい。（創部が濡れなければ、半身浴などの入浴は結構です。）

検査翌日には絆創膏を剥がして頂いて構いません。創部周囲に多少皮下出血が残ることがありますが、しばらくすると吸収されますので問題ありません。

3. 甲状腺穿刺吸引細胞診に伴う危険性・合併症等

甲状腺穿刺に使用する針は比較的細い針ですが、針を使うことに伴う痛みがあります。

穿刺部周囲の消毒のため、通常アルコールを使用します。アルコール過敏症のある方はアレルギーを起こす可能性がありますので、事前にお知らせ下さい。その際にはクロルヘキシジン（ヒビテン）などの他の消毒液を使用します。

十分に消毒してから甲状腺穿刺を行います。糖尿病患者さんやクッシング症候群などの内分泌疾患の患者さん、抗がん剤服用中の患者さん、その他免疫機能低下のある患者さんでは創部より感染を起こし、蜂窩織炎等の症状が発生する可能性があります。検査後に創部が腫れて熱感を伴う痛みがあるようであれば、早めに受診してください。

血小板減少症や血液凝固因子の異常などにより、出血傾向（出血しやすい、血液が止まりにくい）があると思われる際には、事前に医師にご相談下さい。ただし、このような場合にもやむを得ず甲状腺穿刺吸引細胞診を行わざるを得ない場合があります。このような時は、より慎重に検査を行い、止血を確認する必要があります。

非常に稀ではありますが、甲状腺穿刺により気胸（胸膜に穴が開くことにより肺が潰れてしまう）が発生したり、甲状腺が急激に腫脹する、反回神経麻痺（声がかすれてしまう）などの合併症を起こす可能性があります。

4. 同意を撤回される場合について

同意された場合でも、実施までの間はいつでも撤回することができます。

また、その医療が継続して行われる場合にも、やめることができますが、やめることの影響について主担当医から十分な説明を受けた上でご判断をお願いいたします。

5. セカンドオピニオンについて

治療方針を決める上で主担当医以外の意見をお聞きになりたい方は、必要な資料や検査結果を用意しますので遠慮なくご相談ください。